こども未来会議

令和7年7月3日(木) 第14回

こども未来会議(第14回)

<出席委員>

(敬称略・五十音順)

氏 名	所属			
池本 美香	株式会社日本総合研究所 調査部 上席主任研究員			
古坂大魔王	芸人・プロデューサー			
田中 れいか	一般社団法人たすけあい(代表理事)			
松田恵示	東京学芸大学理事、神戸親和大学理事・学長			
山本 晃史	認定特定非営利活動法人カタリバ 文京区青少年プラザ b-lab館長			

<プレゼンター>

一木 広治	一般財団法人ピースコミュニケーション財団 代表理事		
	早稲田大学グローバル科学知融合研究所副所長・研究院客員教授		

こども未来会議 (第14回)

知事挨拶

本日のテーマ

子供が社会の一員として意見表明するための機会の創出

事務局報告

- 子供の声の施策反映
 - ①こども都庁モニター ②こどもワークショップ
 - ③中高生政策決定参画プロジェクト
- 国内外の他都市と連携した意見表明
 - ④中高生海外派遣 ⑤こどもシンポジウム"TEENS SQUARE"
- 声を上げにくい子供からの意見聴取
 - ⑥子供の居場所におけるヒアリング ⑦出前授業

子供の声の施策反映 ①こども都庁モニター



年代別にモニターを募集し、

各局施策に関するテーマについて

Webアンケート

各区分200人を公募により募集

- ①未就学児(0~2歳)保護者
- ②未就学児(3歳~)保護者
- ③小学校低学年
- ④小学校高学年
- ⑤中学生
- ⑥高校生相当年齢

子供の声の施策反映 ②こどもワークショップ



都の様々な施策をテーマに子供の生の声や

ニーズを把握するワークショップを実施

子供からの意見は、施策の充実に活用

<R6年度テーマ>

- ①未来の東京 ②東京2025世界陸上
- ③多摩都市モノレール延伸部のまちづくり





意見交換



全体へ意見共有







子供が安心して率直な意見を言えるよう、様々な工夫を凝らしてワークショップを実施

子供たちの様々な声と施策への反映

こども都庁モニターの声

Q. (中高生への情報発信) 興味・関心がある情報をどこから 得ていますか?



インターネット (65.1%)

Q. インターネットで情報を探す際に困っていることは何ですか?

欲しい情報がまとまっておらず、探しにくい(51.5%)

ユーザー目線を徹底して 中高生に特化した 「中高生Webサイト(仮称)」 を制作

こどもワークショップ(東京2025世界陸上) 参加者の声

- ・競技を実際に体験しその面白さを知ってもらうことで、興味を 持つ人が増え、人気が出るきっかけになる
- ・ 選手全員にメダルをプレゼントしたい。折り紙で作るのでもいいの で、選手を応援している気持ちを伝えたい

- ▶ 大会の気運醸成イベント等におい て競技体験を実施
- 子供たちからのメッセージを集め、 選手に届けるとともに、**会場での盛** り上げなどに活用

子供の声の施策反映 ③中高生 政策決定参画プロジェクト



東京都の子供政策について、

当事者である子供が自ら議論し、

都知事へ政策提案

▶ 2025年度、政策へ反映

事業のプロセス

Step 1 議論テーマの決定

Step2 事業案検討·政策提案

Step3 政策への反映

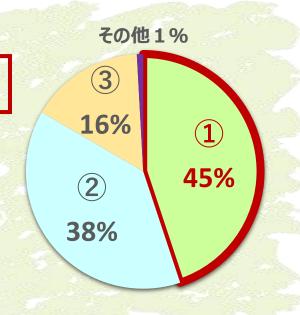
①議論テーマの決定

中高生によるWeb投票でテーマを決定





- テーマ① 『将来のためになるリアルな体験活動の充実』
- テーマ② 『地域における中高生の居場所づくり』
- テーマ③ 『**中高生に伝わる広報** ~気軽に悩みを相談できるきっかけづくり~』



12名の中高生が、約半年間かけて10回のグループワーク等を実施し、議論



進路選択に活かせる職業体験を充実したい!

見学ではないリアルな職業の体験がしたい!





中高生向けの職業体験が少ない!

企業に話を聞いたところ、 中高生のニーズの把握が難しいようだ!



【知事へ提案】

中高生と企業をつなぐ「職業体験に関する総合サイト」をつくりたい!

③政策への反映



職業体験を希望する中高生と企業・団体とをマッチングする新たな仕組み 東京都の2025年度予算に反映

【中高生】

- ・応募
- ·企業研究





職業体験 プラットフォーム (仮称)

- ✓ 職業体験の紹介
- ✓ 業界・業種紹介 など

【企業·団体】

- ・体験プログラム提供
- ·企業紹介





国内外の他都市と連携した意見表明 ④中高生海外派遣



- →中高生(10名)が、海外の子供政策先進都市を訪問し、条例の理念及び子供政策の理解を深める
- ▶海外都市との連携や
 国際的なネットワークの構築にも
 つなげていく

④中高生海外派遣(ベルギー派遣)

ワークショップ 11月~3月

現地での交流 3月

帰国後の振り返り 4月

成果報告会 6月



現地の同世代の子供達等と、「居場所」「意見表明」に関して意見交換

子供関連施設の視察を通じて**若者の声を** 生かした居場所づくりを学ぶ

<交流先>

- ✓ ブリュッセル市内学校の中高生
- ✓ 中等教育学校生徒会連合会
- ✓ コミュニティセンター など



「居場所」「意見表明の機会」について、 **渡航を通じて得た**ことを**同世代に発信**

<子供達の声(抜粋)>
"子供一人ひとりに機会があり、
そのことを子供達にアプローチする。
そして**僕達が、積極的にそのアプローチに応える。**そんな**互いに高め合う関係**を築くと良い"

国内外の他都市と連携した意見表明 ⑤こどもシンポジウム"TEENS SQUARE"



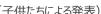
- >中高生(20名)が、国内海外都市の 10代と交流
- ▶「わたしが考える『こどもにやさしい都市』」 をテーマに、自分が考えたことを発表・ 意見交換

⑤こどもシンポジウム"TEENS SQUARE"

R6 国内の子供政策先進都市の子供たちを招いて、シンポジウムを開催

▶ 東京都・札幌市・千葉市・富谷市から36名の子供たちが「こどもにやさしいまち」実現に向けた取組事例を発信







(子供同十の質疑応答・意見交換)



(都市混合でのワークショップ)



(都知事への表敬訪問)

R7

今年8月は、海外の子供政策先進都市の子供たち を初めて東京に招き、国際シンポジウムを開催

ベルギー、アイルランド、インドネシア、台湾から合計20名の子供たちが参加予定



国内外都市との交流事業の成果の還元

意見表明の大切さを学んだ人材が、東京都こども基本条例の普及啓発など、様々な場で継続的に活躍

東京都こども基本条例アンバサダー



事業への参加後1年間、伝道師として同世代へ普及啓発

アンバサダーとして活躍後

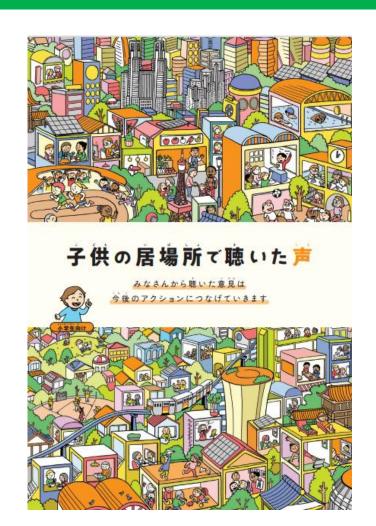


アルムナイネット ワーク *卒業生のつながり、同窓会



継続的に都の様々な取組に参画し、 子供の意見表明の重要性を社会に浸透

声を上げにくい子供からの意見聴取⑥子供の居場所におけるヒアリング



様々な環境下にある子供の意見を聴くため、子供の居場所に 足を運び、自由な意見や生の声を聴取

<2024年度実施概要(施設別)>

児童館	83人	フリースペース	53人	放課後等デイサービス	22人
ユースセン ター	47人	子供劇場	22人	児童養護施設	19人
プレーパーク	60人	学習支援拠点	22人	日本語教室	27人
学童クラブ	59人	各種支援団体	27人	計	540人
子供食堂	67人	フリースクール	32人		

声を上げにくい子供からの意見聴取 7出前授業



学校という日常的な空間で、 子供の**自由な意見**を引き出す

<R6年度実施概要>

対象:小学校・中学校・高校の児童・生徒 計1,000名程度

テーマ: 「こども未来アクション」「東京都こどもホームページ」等

R7

声を上げにくい子供へのアプローチとして、今年度、特別支援学校での実施を予定

子供たちの声を参考とした事業例

子供・子育てメンター "ギュッとチャット"

参考とした子供たちの声

- ◆自分の抱えているものを全部話したい (小学生)
- ◆知っている人より知らない人の方が相談しやすい (中学生)

学校の居心地向上

参考とした子供たちの声

- ◆ 一緒に考えてくれると勇気が出る (小学生)
- ◆ 納得いかないことを、中学校では生徒会経由で 言うけれど、無駄かなと思う(中学生)

子供の遊び場の整備

参考とした子供たちの声

- ◆満足のいくような遊びができるところがない (小学生)
- ◆遊ぶ場所があると(人と) **関わることが多くなる**(中学生)

体験活動の推進

参考とした子供たちの声

- ◆ 体験する機会があったから、将来は石大工 になりたい (小学生)
- ◆ **人生でまだ体験したことないイベント**などを やってほしいです (中学生)

本日のテーマ

子供が社会の一員として意見表明するための機会の創出

こども未来会議 (第14回)

知事挨拶

こども未来会議

令和7年7月3日(木) 第14回